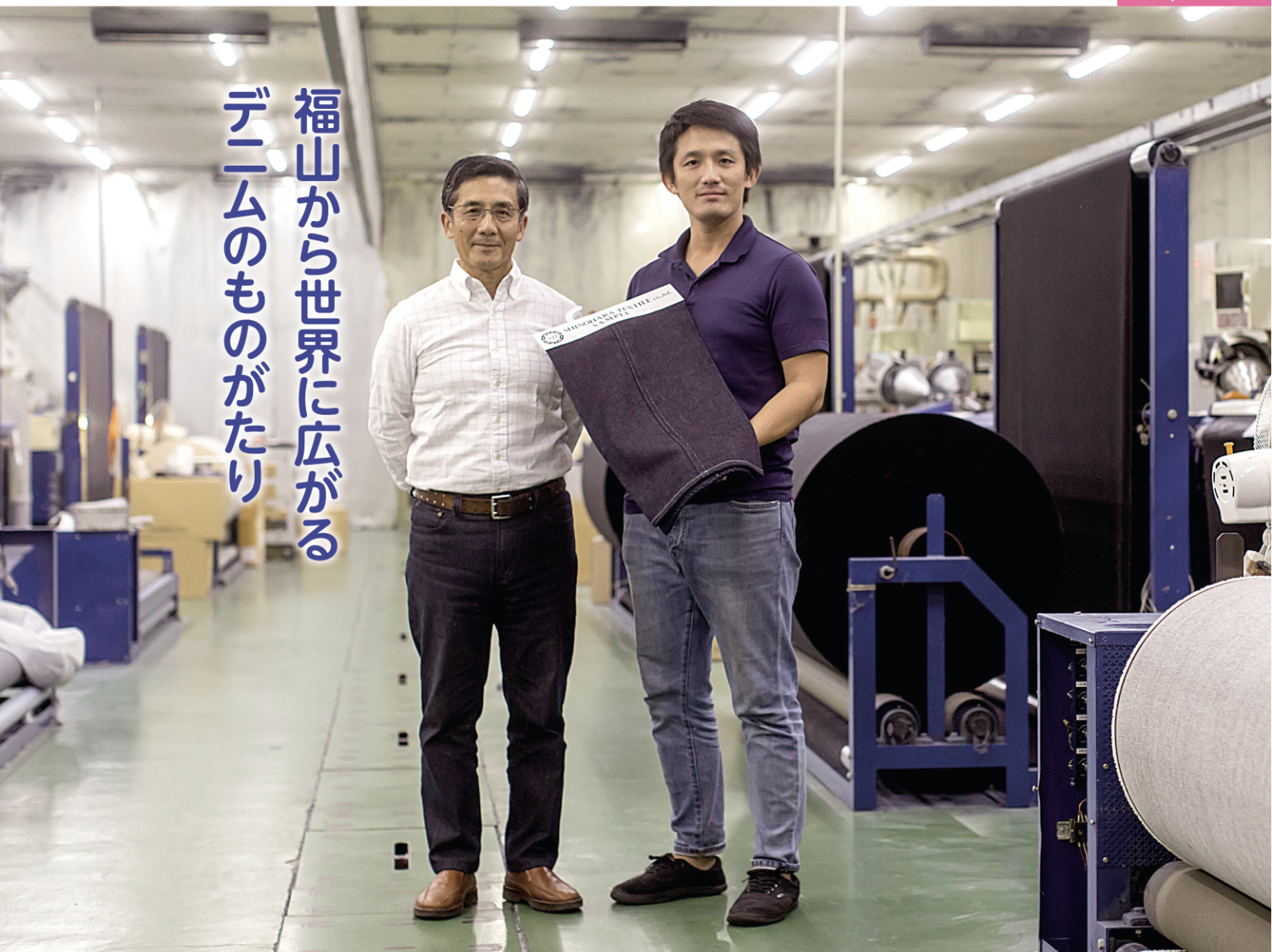




福山から世界に広がる
デニムのものがたり

今月号の主な内容

特集

デニムと言えば福山じゃろう！
今月のイチオシ

市の財政状況
P 5
かかりつけ医って何だろっ？
P 6
大型イベントの紹介
P 7
福山市総合防災訓練
(全市一斉)
P 8

広がる地域のまちづくり

福山未来共創塾 ほか
なくそう！子どもへの虐待
P 9
暮らしの情報
P 10

文化施設
P 11
催し・講座
P 13
募集・お知らせ
P 15

健康・医療
P 16
相談
P 17
福祉
P 18

歴史散歩

童謡と中条 愛唱歌誕生秘話
P 19
いきいきシニア
P 20

認知症予防で
いつまでも元気に ほか
P 20

ふくやまニュース

福山版図柄入りナンバプレート
P 21
交付記念セレモニー ほか
P 21

ネウボラ通信

「福山市ファミリーサポート・
センター事業」の紹介、保育所
(園)等入所申し込み ほか
P 22

プレゼント付き読者アンケート

つながる備後圏域

福山ブランド

広報「ふくやま」
電子版



デニムと言えは 福山じゃろう!

スペシャル
インタビュー

本市がデニムの一大生産地であることを知っていますか。紡績・染色・織布・加工などの工程を担う企業が集積し、そこで生産されるデニムが国内外のファッションシーンを支えています。今回は「ものづくりのまち・福山」を代表するデニム産業の発展やこだわりについて紹介します。

問 産業振興課 ☎928-1039

メイド・イン・ジャパンのデニムを
ものづくりのまち・福山から世界へ



1.織られる前のインディゴ染めされたタテ糸 2.織り機にセットする前のヨコ糸の準備 3.タテ糸にヨコ糸を打ち込みデニムに織り上げていく 4.織り上がったデニムは全て目視で検査

本市がデニム生産の
集積地となった理由は?

話を聞きました!
広島県織物構造改善工業組合
理事長
篠原 由訓さん
(篠原テキスタイル
株式会社代表取締役社長)



江戸時代から綿の栽培や製織、染色が盛んだった福山。江戸時代後期には日本三大緋の二つ(備後・備前)が生産されました。ここで培われた厚手生地(厚手)の織布技術や藍染めなどの染色技術が、デニムの産地として発展する背景になりました。

また、時代とともに綿の需要が減る中、戦後に福山市の企業がデニムの生産に欠かせないロープ染色技術(ロープ状にした糸の表面のみ染める技術)を習得し、染色機を開発したことでデニムの注文が集まるようになりまし。現在ではデニム関連企業が集積し、日本屈指のデニムの産地となっています。

備後緋

なぜデニムは色落ちするの?

デニムのタテ糸は表面だけインディゴで染めているため、中の芯は白い糸のままです。色落ちとは、摩擦や脱色によって生地の表面のインディゴが剥がれることで、中の白い部分が表に出てくること。それがデニム最大の魅力でもあります。

デニムの種類は?

糸は綿を中心に麻やレーヨンなどさまざま。重さもオンスという単位で表され、用途に応じて種類は豊富です。織り方によって表面の風合いも異なり、ヨコ糸に染め糸を使ったタンガリーもデニムの仲間です。

デニムの表が青で裏が白い理由は?

デニムは染めたタテ糸と白いヨコ糸で織ります。一般的な織り方では、タテ糸が表に多く表れ、ヨコ糸は裏に多く表れるため、生地の表裏で色が異なります。表裏の色が同じになる織り方もあります。



世界が目にする
メイド・イン・ジャパン

なぜメイド・イン・ジャパンのデニムが選ばれるのか。それは「品質」にこだわっているからに他なりません。海外でもデニムは作られています、同じ品番でも色や織布の精度にバラつきがあることも。しかしメイド・イン・ジャパンのデニムは、各工程を担う企業が常に「品質」を重視してものづくりに取り組むことで、オーダー通りの仕上がりや安定的に供給しています。これこそがメイド・イン・ジャパンの強みといえます。

また、これまではデニムを作る私たちの存在が世に出ることはありませんでした。近年は「誰が」「どういった思いをもって」作っているのかを知りたいというニーズが高まり、福山の多くの企業に注目が集まっています。デニムを学びに東京などから福山を訪れる若者も増えるなど、次代に向けた好循環も生まれ始めています。



ものづくりの情熱をもって
デニムの可能性に挑戦

福山のデニム関連企業の多くは備後緋を背景に、100年以上の歴史をもつ企業もあります。その伝統を守る一方で、世の中のニーズに応える新たなものづくりに積極的に取り組み、デニムの可能性を広げ続けています。

例えば綿の栽培から環境を大切にしたい糸を使い、染色も天然由来の染料で染めることで製品にエコの認証を得られるような新たなデニムをつくること...それも確かな技術力と、挑戦する気概があつてこそ実現できるものです。ファッションウェアだけではなく、インテリアなどにも採り入れることもできるデニムの可能性は無限大といえます。だからこそ私たちは現状に満足せず、よりよいデニムをつくる努力とものづくりの情熱をもつことで、世界をリードする福山発のメイド・イン・ジャパンのデニムを生み出し続けたいと考えています。



トピックス!

生地の産地だからできる!
福山デニムを使った
こんな製品も

近年はデニムの可能性を追求し、「ものづくりのまち・福山」の技術を生かしたデニム製品が続々と誕生。衣料品をはじめ、雑貨やインテリア関連など、さまざまなジャンルに広がっています。



破れた生地でも出荷してもいいの?

破れた生地は出荷しません(笑)。ジーンズなどでは風合いを出すためにウオッシュや擦りといったさまざまな加工を施すこともありますが、生地出荷時ではなく、その後の工程で加工を行います。

デニムは洗濯する?

昔は洗濯洗剤では色落ちが二気に進んでしまつたため、ジーンズなどは洗濯せずにはき続ける人もいましたが、現在は色落ち防止加工やデニム用洗剤が広まってきたこともあり、色落ちをコントロールできるようになりました。衛生面を考えてもデニム製品は洗濯をお勧めします。

デニムが伸びたりするの?

糸に伸縮性があるポリウレタンなどの素材を混ぜることで、ストレッチデニムは作られています。仕上がったジーンズなどは動きやすく、とても人気があるデニムです。

デニムの産地は?

国内のデニムの産地は福山市と岡山県井原市倉敷市が占めているといわれています。メイド・イン・ジャパンのデニムはこの地域で生まれ、世界のファッションシーンを支えています。それが私たちデニム職人の誇りでもあります。

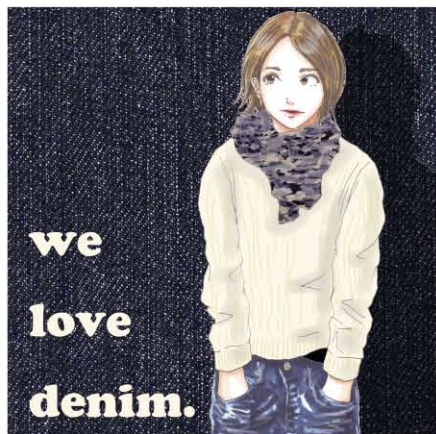




「初めての山登り」
写真部門 最優秀賞作品



「親子デニム」
写真部門 優秀賞作品



「we love denim」
イラスト部門 最優秀賞作品



「2人を結ぶ青い糸」
イラスト部門 優秀賞作品

11/1木~1/11金

備中備後ジャパンデニムプロジェクトとは

国産デニムの産地とされる備中地域(井原市などの岡山県西部)と備後地域(福山市などの広島県東部)の行政・デニム関連企業が連携し、国産デニムの産地を盛り上げるために取り組んでいるプロジェクトです。

前年度の受賞作品

デニム愛あふれる作品を募集
大好評の備中備後デニムコンテスト
第2回の募集がスタート
今回は写真・イラスト・川柳の3部門で
作品を大募集!

たくさんの
応募を待って
います!

備中備後デニムコンテスト2018

詳しくは備中備後ジャパンデニムプロジェクト公式HPに掲載

備中備後デニムコンテスト2018 検索

応募方法

- ◆SNS(Twitter・Instagram)
作品のタイトルと応募用ハッシュタグ「#備中備後デニムコンテスト2018」を記載して投稿
- ◆E-mail
メールのタイトルは「コンテスト応募」とし、作品と応募用紙(公式HPに掲載)を添付の上、次のアドレスに提出
提出先: sangyou-shinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp
- ◆郵送・持参
CDまたはDVDに作品と応募用紙を保存し、次の宛先に提出
※郵送の場合は消印有効
提出先: 〒720-8501 市役所本庁舎内 産業振興課

全部門共通の応募要件・規格の概要

- ◆必ず募集要領(公式HPに掲載)の内容を了承した上で応募してください
- ◆1人何点でも応募できます。ただし自作かつ未発表のものに限ります
- ◆応募作品の肖像権や著作権については、応募者の責任において承諾を得てください
- ◆受賞作品の著作権は福山市に帰属します
- ◆作品の大きさや色彩、表現方法は自由です(公序良俗に反しない範囲でお願いします)

受賞作品発表

来年3月中旬に公式HPなどで発表します

最優秀賞受賞者3人に副賞としてデニム生地をプレゼント!

〈部門紹介〉

写真部門

「デニムっていいな」と思える写真
デニムを着用した人物やデニムがある風景、こだわりのMyデニムなどの写真

最優秀賞1点 5万円
優秀賞5点 1万円

イラスト部門

公式HP掲載のデニムの画像を参考または活用したオリジナルイラスト

最優秀賞1点 5万円
優秀賞5点 1万円

川柳部門

「デニムっていいな」と思える川柳
デニムを身近に感じる一句やデニムを楽しんでいる様子を詠んだ一句

最優秀賞1点 1万円
優秀賞15点 5千円

もっと身近に デニムを 楽しみませんか?



いい藍(あい)の日
福山伝統の染色技術やデニムの藍色の語呂合わせ



11/1(木)からデニム製品着用期間やコンテストの募集がスタート!
問 産業振興課 ☎928-1039

2017年度に参加した 企業に話を聞きました!

株式会社キャスト

本市に拠点をもつ金属部品の総合メーカー。2016年に新たな制服を作るプロジェクトがスタート。公募でデザインを募集した結果、福山のデニムを使い、福山の縫製会社が手掛けた制服が今年10月1日に完成。

制服をデニムに新!
社員のモチベーションが
上がっています

Q デニム製品着用期間に参加した理由は?

A 当時はまだ新たな制服が完成していませんでしたが、制服のリニューアルプロジェクトの一環としてデニム製品着用期間に参加。全社員がデニムを着用して仕事をしました。

Q 制服をデニムに変えてどうですか?

A メイド・イン・福山の「世界に二つだけの制服。これは当社のもので、つくりへの思いにも通じます。

Q 最後に一言!

A デニムは使い勝手がよく、作業の生地としても優秀です。デニムを着用すれば、それが福山で作られていることにも誇りがもてるはずです。

Q 最後はもう一言!

A もっとよい制服になるよう改良・改善を重ねます」と経営管理部上席主任の田村晃宏さん(左)と広報副主任の桑田沙登美さん



「もっとよい制服になるよう改良・改善を重ねます」と経営管理部上席主任の田村晃宏さん(左)と広報副主任の桑田沙登美さん

CHECK ここでもデニムを
制服に使っています!

福山駅観光案内所

職員がデニムのベストを着用して働いています。胸元にはデニムで作成したばらのブローチも♪



11/1木~12/26水

まちがデニムで染まる!?
デニム製品着用期間が
始まります!

デニムをより身近に感じてもらうため、デニム製品着用期間を設けています。市職員もこの期間、デニム製品を着用して業務を行います。

デニム製品を着用して 業務を行う企業を大募集!

ジーンズやデニムシャツなどを着用して「デニムの産地福山」を一緒に発信しませんか?
着用した様子を市公式Facebookなどで紹介します。
問 情報発信課 ☎928-1290

参加の流れ

- STEP1 デニム製品を着用して業務
- STEP2 着用した様子を撮影
- STEP3 TwitterやInstagram、Facebookで応募用ハッシュタグ「#福山はデニムの産地」を付けて写真を投稿。もしくはメールで、企業・団体名とデニムを着用した感想・写真を、情報発信課に送付。詳しくは市HPに掲載



昨年参加した企業